



平成 25 年 10 月

杉並区立富士見丘中学校

第 4 号

学校運営協議会だより

スクールソーシャルワークとは

学校運営協議会会長

ちよう しゅんすけ

長 俊介

(日本スクールソーシャルワーク協会会長)

(修復的対話フォーラム副理事長)



20世紀初頭にアメリカで誕生したシステムで、子どもたちが日々の生活の中で出会うさまざまな困難を、子どもの側に立って解決するためのサポートシステムです。教育や医療と言った一つの角度からだけとらえるのではなく、彼らを取り巻くさまざまな人々（家族・教師・友人など）や地域の環境などに働きかけることで、問題解決を図ろうとするものです。例えて言えば、部屋で寒さに震えている子どもたちに対して、体を温めるために洋服を幾枚も重ね着させることで、結果的に身動きできなくするのではなく、部屋全体を暖かくすることで、寒さから彼（彼女）たちを守ってあげることです。

人と人をつなぐ言葉

校長

わたなべ せんじ

渡邊 仙二



私たちの生活の中で、言葉によるコミュニケーションは欠かすことはできません。言葉はその国の文化であり、良好な人間関係を築くためのツールのひとつとして大切にしなければなりません。

子どもたちは、家族や地域の方々に見守られ、健やかに成長しています。多くの方々と心が触れ合い、豊かな心情を形成するためにも、人と人をつなぐ言葉としてみんなで「おはようございます」などあいさつの輪を広げ、元気で笑顔がたえない富士見丘中学校にしていきます。

新事務局 濱田克利副校長先生の紹介です



事務局
はまだ かつとし
濱田 克利

元野球少年 地域とのパイプ役に

4月1日に富士見丘中学校へ副校長として着任いたしました。学校運営協議会に関わらせていただくことで、地域と学校とのパイプ役になればと思っています。中野区に始まり、江戸川区、江東区、利島村、杉並区で教員として過ごし、昨年度は区内の大宮中学校に勤務しておりました。

副校長 1 年目ということで不慣れな点もあろうかと思いますが、より良い富士見丘中学校を目指して努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

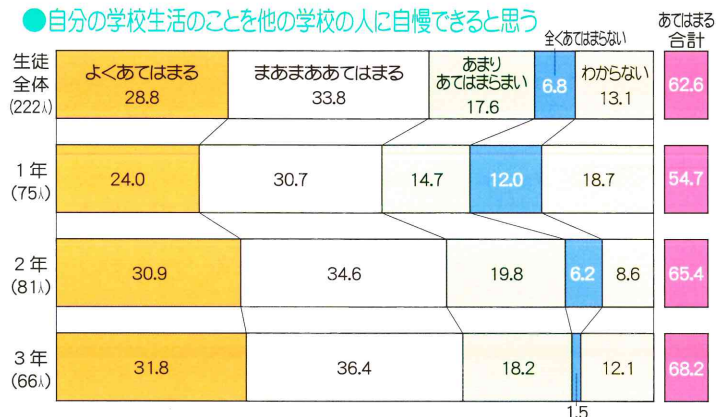
●中学校時代のエピソードをひとつお願いします

中学校時代は、野球一色の毎日でした。最後の夏の都大会で八王子に負けた後、受験モードに突入しましたが、甲子園を目指すか、都立に行くかで悩み、勉強に集中できませんでした。しかし、夏休み明けの父の一言で都立を選んでからは必死で勉強し、なんと志望校に合格することができました。目標をもつことの大切さが、少し分かったような気がしました。

平成24年度学校運営協議会アンケートの結果から

富士見丘中学校の学校生活は他校生に自慢できるほど充実している！

●自分の学校生活のことを他の学校の人に自慢できると思う



「学校を自慢ができる」は学年が高くなるほど、「あてはまる」の割合が高くなり、2年生や3年生では7割近くが「そう思う」と回答しています。

実際に生徒の皆さんに聞いてみました！

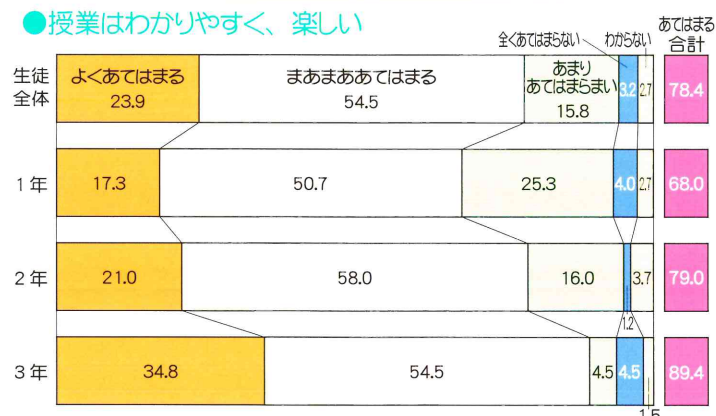
3年女子…先生に質問するとわかりやすく説明してくれる。相談も真剣に考えてくれる。

3年女子…部活体験の時に先輩たちがとても礼儀正しかった。いいなと思った。

2年男子…合唱コンクールや運動会の行事は、先生と生徒が丸となってもりあがる！！

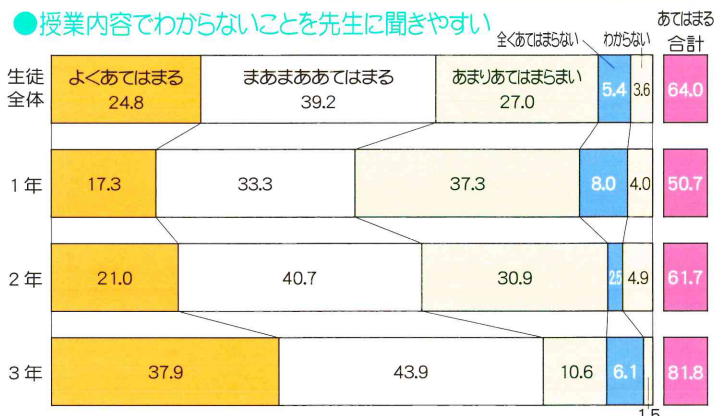
授業のわかりやすさは?? 学年によって分かりにくいと感じる生徒が多く、先生に質問している人も少ない

●授業はわかりやすく、楽しい



学年が上がるにつれて、「楽しい・わかりやすさ」の割合が増えています。学年によって、その比率が少し低いのが気になります。

●授業内容でわからないことを先生に聞きやすい



学年が上がるにつれて、「聞きやすい」生徒の割合が増えています。学年により、聞きにくいと感じている生徒も少なくありません。

何かわからない？ なぜ聞きにくい？

遠慮する必要はありません、はじめが肝心！ 1年生でも2年生でも早い段階で分からないことを解決していきましょう。

〔渡邊校長先生から〕

学校経営方針で、一人一人の生徒が主人公である学校の実現を目指している私にとって、「学校生活が自慢できる」と2年生や3年生の7割近い生徒の皆さんが思ってくれていることは、とてもうれしい結果です。ただ授業内容については「先生に聞きにくい」と感じている人が学年によっては半数近くいることが気になります。富士見丘中学校の先生はいつでも話を聞いてくれますので、わからないことがあるときは遠慮しないで聞きにきてください。

そして、「生徒の皆さんがこの学校に来てよかった」、「保護者の皆さんがこの学校に託してよかった」と思える学校になるよう教職員一同頑張っていきます。

JOINT (学校支援本部) では土曜日学校やパワーアップスクールのお手伝いをしています



JOINT (学校支援本部) の活動の中に、土曜日学校や数学勉強会の開催、夏のパワーアップスクールのお手伝いがあります。

「いつやるの？ 今でしょ！」というフレーズではありませんが、「やる気」は自分でスイッチをいれないと起きないものです。

わからないことをそのままにせず、それを克服することによって、中学校生活を激変させることができるのではないのでしょうか？

たくさんのOB、OGや地域の方がサポートしています。ぜひ参加してみてください！